



マーケティング部門サービス事業本部サービス事業開発発部サービス事業企画課の三井健太郎課長は「昨今では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因して、日本だけでなく世界的にも『コロナうつ』と呼ばれるメンタル不調者が増加傾向にある。アクサが世界11カ国で行った『心の健康』に関する意識調査では、『職場で心の健康に関してサポートを受けている』と認識している人はそうでない人より心の健康状態が良好であることが分かっていて。また、『職場で心の健康に関してサポートを受けている』と回答した人の割合は、11カ国平均の37%に対して日本は20%と、職場のサポートが進んでいるとは言えない状況であることが分かってい

る。当社が行っている中小企業向けのアンケートでも、約4社に1社がコロナ禍で従業員のメンタルヘルス不調や環境変化による影響が見られているといった結果が出ている。企業にとって従業員のメンタルヘルス対策は、非常に重要なものとなっている一方、デジタルを活用し、自分自身で健康増進を管理する方も増えている。『産業医プログラム』を広めていくことで、当社が従業員のメンタルヘルス対策を後押ししていることをアピールしていきたい」と語る。

同部サービス事業推進

課の水上誠課長は「コロナ禍でもあり、従業員同士がなかなか顔を合わす機会もない中で、提供している健康増進サービスの中でも運動習慣の定着化を促すコンテンツ、およびコミュニケーション活性化と健康習慣の定着化を促すコンテンツとして特に『運動機会増進アプリ』『アクサ健康スクラム』は好評で、利用件数も増加している」と話す。

「運動機会増進アプリ」は、スマートフォンアプリ上で分かりやすいエクササイズ動画を見ながら身体を動かすことによつて、健康づくりを進めてもらうサービス。職場だけでなく家庭でも利用することができる。アプリ内にアクサ生命専用の環境を設定し職種別・職場シーン別・悩み別にカテゴリー分けされた動画を用意し、健康経営を推進する職場で活用しやすいコンテンツだ。

一方、「アクサ健康スクラム」はコミュニケーション活性化と健康習慣の定着化を目的としたサービスで、スマートフォンアプリ上で部署ごとに5人1組のチームを組み、参加者同士で励まし合いながら健康づくりの習慣化を目指すもの。アプリ内にアクサ生命専用環境を設定し、「歩数・運動チャレンジ」「食事・栄養管理チャレンジ」「睡眠チャレンジ」の三

つのメニューを用意している。「健康経営サポートパッケージ」のその他の各健康増進サービス（食事・栄養管理支援、睡眠チェック、運動機会増進アプリ）と連携して活用することで、効果的に健康づくりの習慣化を進めていくことができる。利用企業の従業員による「アクサ健康スクラム」の取り組み状況を経営者が把握するためのレポートも提供する。

同社は15年から企業経営者向けの健康経営セミナーを開催し、企業に対する健康経営の普及啓発と実践支援を進めてきた。地域のステークホルダーとのパートナーシップにも力を入れ、22年4月現在、全国の商工会議所との健康経営の普及促進等に関する連携協定数は466にのぼる。さらに、健康経営の普及促進や健康づくり等に関する自治体との連携協定数が55に、全国健康保険協会支部との健康経営の普及促進に向けた覚書締結は44県に広がっており、企業における健康経営の導入実践と職域の従業員とその家族の健康づくりの支援を自治体や保険者と連携して進めている。

（注）中小企業の健康経営を普及・啓発する目的で、経産省が東京商工会議所に委託して創設した研修プログラムを修了し、課題測定で一定基準に達し認定された人材。